

DUMA設立の目的

2011年3月11日、未曾有の津波被害をもたらした東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）が発生しました。この地震は地震学界にも大きな衝撃を与えました。それまで地震研究者は東北日本ではマグニチュード9の地震は発生しないと思込んでいたのです。

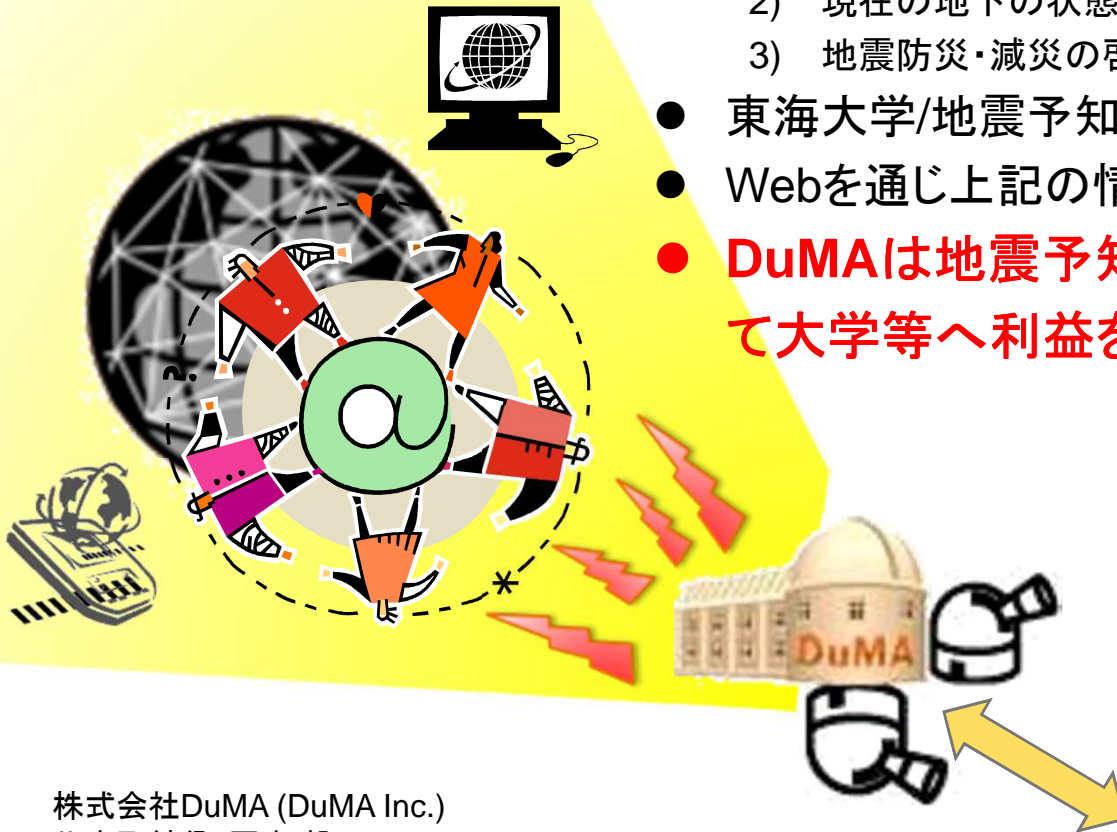
この結果、地震予知研究バッシングが始まりました。特によく聞かれた意見は「これまで何十年に渡り、何千億円も予知研究につき込んできたのに、東日本大震災が予知できないのであれば、予知などやめてしまえ」というものでしょう。

実はこれは大きな間違いです。一番の問題は国民の皆様が思うような「地震予知研究」というものはほとんど行われていないのです。さらに「これまで何千億円もつき込んだ」というのも事実と反しているのです。

現在「予知研究」の名で行われているのは、長中期の予測や地下の構造の調査で、「明日関東地方に大地震の可能性がある」というような研究は全くと言って良いほど行われていないのです。

DuMA Inc., (Down Under Meteorological Agency) は、、、

- 地下気象研究所という意味です。
- 下記の目的で2011年9月1日に設立されました。
 - 1) 地震の予測及びその前兆情報に係る情報提供サービス
 - 2) 現在の地下の状態の適切な解説情報の提供
 - 3) 地震防災・減災の啓発活動の推進
- 東海大学/地震予知研究センター と連携を組んでいます。
- Webを通じ上記の情報提供サービス業務を行います。
- **DuMAは地震予知研究推進のため、寄附等を通じて大学等へ利益を還元する事を目的としています。**



株式会社DuMA (DuMA Inc.)
代表取締役:岡本 毅
取締役CTO:長尾年恭
本社:千葉県柏市十余二380番地
設立:2011年9月1日



DuMAではRTM法という地震活動度解析のアルゴリズムによる 地下天気図™による地震活動の現状と予測情報を配信します

昔から大地震の前には地震活動が変化
する可能性が指摘されてきました。
特に顕著な前兆現象と考えられてい
たのは大地震の前に通常より地震活
動が低下する現象(地震活動静穏化)
です。DuMAはこれに着目します。

DuMAが用いるRTM法は、地震活
動の微細な変化を効率的に抽出する
方法です。

東日本大震災を始め、阪神大震災
や2003年十勝沖地震等でも事後の解
析で前兆的变化が存在していた事が
わかりました。これを後予知ではなく、
リアルタイムに情報提供する事を目指
します。

